

2010年度 第6回 洛和会音羽病院治験審査委員会

【会議の記録の概要】

開催日時	2010年9月9日(木) 16:03~16:44
開催場所	洛和図書館 会議室
出席委員名	金地研二、榎堀徹、川口晶子、牛山多恵子、佐原敏之、吉原哲史、知原信行、橋本靖弘、高山明、服部康夫
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題① 第一三共株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症患者を対象とした SUN Y7017 (メマンチン塩酸塩) の第Ⅲ相試験 (長期) 実施医療機関で発現した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題②③④ シェリング・プラウ株式会社の依頼によるアテローム性動脈硬化症の既往を有する患者を対象とした SCH 530348 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 実施医療機関で発現した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 実施医療機関での治験期間が前回の報告から1年を経過するため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑤ 第一三共株式会社の依頼による骨粗鬆症患者を対象とした AMG162 (denosumab) の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑥ ファイザー株式会社の依頼によるアポリポタンパク E_ε4 を有するアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑦ ファイザー株式会社の依頼によるアポリポタンパク E_ε4 を有さないアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き</p>

	<p>治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑧ クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症患者を対象とした LY2062430 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑨ ノバルティスファーマ株式会社の依頼による慢性閉塞性肺疾患患者を対象とした NVA237 の第Ⅲ相試験 治験依頼者から報告された重篤な副作用等の安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 実施医療機関での治験期間が1年を経過するため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p>
特記事項	<p>議題②③④：当 IRB 設置医療機関を含む 2 施設（3 診療科）からの審議依頼による（但し、実施医療機関で発現した重篤な有害事象についての審査、継続審査は 1 施設（1 診療科）のみ）</p>